

中国でパスポート紛失された方へお役に立てればと思い、私の体験談を書きます。

2018/1/12(金)

上海から桂林へ飛んだ国内線(FM9377 便)の航空機内で、パスポートをシートポケットに置いて、出てきてしまいました。

中国ではパスポートが無いとホテルに泊られません。飛行機や新幹線、高速バスにも乗れません。

気づいたのは、ホテルチェックイン時で、慌てて空港へ戻りましたが、最終便まで飛んだ夜中でしたので、チェックカウンターは誰も居らず、到着口の職員さんより遺失物センターを案内されましたが、"無い"と言われました。

その日は空港で夜を明かしとなりました。



(桂林空港内の遺失分センター)

翌朝[2018/1/13(土)]、

航空会社コールセンター(日本語係)へ電話し、事情を説明しました。もう一度、飛行機内を探していただきましたが、出てきませんでした。このまま空港泊まりはきついため、ホテルの手配を依頼しました。ここからが必要手続きとなります。

航空会社コールセンターの方の協力のもと、

#### ①警察に届けました。

空港に居ましたので、桂林空港内の派出所へ届けました。

"証明書"をいただきましたが、散々バカにされただけで、何もいただけませんでした。

次に出入国管理処へ行きたかったのですが、土曜日で空いておらず。

航空会社コールセンターの方がいろいろ問い合わせてくれたようで、桂林出入国管理処の方を紹介してもらいました。その出入国管理処の方にホテルを予約していただきました。

この方(シャハイテイさん)が日本語を話せたのがラッキーでした。

ちょっと高いホテルでしたが、このホテルで出入国管理処が開く月曜日まで過ごしました。

2018/1/15(月)

#### ②出入国管理処(桂林市内)に行きました。

受付で**“请给我开具一份护照报失证明。”**メモ渡し、申請書類と番号札を貰い、待つこと十数分。

待ち時間に申請書類を記入、写真(縦 4.5cm×横 3.5cm)も用意。

係員の方に無くなった経緯がよく理解できませんと散々言われましたが…、**パスポート紛失証明書**を発行していただきました。これがパスポートの代わりとなり、高速鉄道や飛行機に乗れるようになりました。シャハイテイさんより、帰国のための手続きを教えてもらいました。

このあとは、日本領事館で届け出をし、書類をもらい、中国の出入国管理処で帰国ためのビザをもらってくださいと。この出入国管理処は、どこでもよいとのことでした。

1時間くらいで手続き終了しました。



高速鉄道で桂林北駅より広州へ向かいました。

"パスポート紛失証明書"のおかげで、切符はスムーズに買えました。

### ③日本領事館(広州)へ行きました。

地下鉄 5 号線"淘金"駅下車。出口 A 花園酒店(大きいホテル)内にあります。ホテル内に入ったら、電話 (020-8334-3009)でガイドしてもらった方がいいと思います。

日本領事館へ入るのに、"パスポート紛失証明書"が必要です。

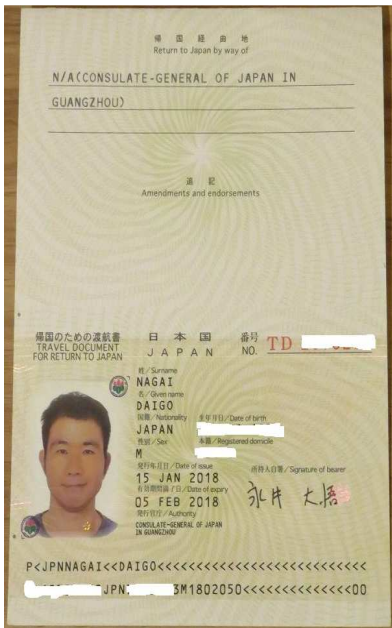
あらかじめ、電話しておいたので、話がスムーズでした。

**"帰国のための渡航書"**を発行していただきました。費用 145 元现金です。

写真 2 枚、日本国籍を証明するものとして、運転免許証を提出しました。

戸籍謄本は帰国後に提出でも大丈夫だそうですが、電子データで持っていたので、メールで送りました。

40 分くらいで手続き終了しました。



幸い桂林まで戻る高速鉄道があり、それに乗り、桂林北駅で下車しました。桂林北駅で降りると、ホテルの客引きが多くて、ネットで予約する必要無かったなあと感じました。ここで泊まったホテルは、お金を払っただけで、身分証明書の提示をなく、拍子抜けでした。

2018/1/16(火)

**④再び出入国管理処(桂林市内)に行きました。**

“请签发返回日本” 帰国のためのビザを申請しました。

申請用紙を記入し、写真1枚を貼りつけて担当官へ提出しました。

いつ帰国するんだと意地悪な質問をされながら、早く発行してほしいと伝え、翌日午後4時に取りに来なさいと言われ、“**ビザの引換書**”を貰いました。



(ビザ引換書)

手続き終了が午前中だったので、本来の目的地へ旅に出ました。帰国のメドがついたため、航空会社へ電話して帰国のためのフライトを予約しました。

2018/1/17(水)

**⑤またまた出入国管理処(桂林市内)に行きました。**

午後4時に行ったのに、まだ無いので午後5時に来いと言われました。

外に出ると、いかにも外国人と言わんばかりの黒い方々がたむろしていました。

しょうがないので、近くの公園で待ちました。

5時近くになったので、再び出向くと準備ができていました。

"帰国のための渡航書"にビザが貼られていました。申請料 160 元を払いました。

さっきいた黒い方々がいませんでしたので、外国人向けのビザを待っていたのではないかと思います。



(帰国のための中国ビザ)

ビザ取得が 1 時間遅れたため、桂林空港までバスで行っている余裕がなくなり、タクシーで向かいました。40分 160 元。ドライバーさんは大喜びでした。

さてチェックイン…。桂林空港には航空会社別にカウンターがなく、一括して、全ての航空会社の手続きを行っていることが分からず、どこに並んでよいか困りました。

それと、航空会社のコールセンターに散々電話しているのに、なぜ職員さんが誰も来ないんだろうと思っていたのですが、職員さんが誰もいないことが分かりました。

ここ桂林空港では、空港内遺失物センターへすべての物が集まることを漸く理解しました。

成田だと航空機内の忘れ物は各航空会社が預かり、空港内での忘れ物は、空港会社が預かるのですが…。

出発前、もう一度、空港内遺失物センターへ訪ね、パスポートの有無を確認しましたが、無かったです。

桂林から国内線で上海まで飛び、上海空港では客引きで招かれたホテルに泊まりました。

このホテル、ネット上の評価は散々でしたが、それまでに泊まったところがあまりにも寒かったので、すごく快適でした。

## 2018/1/18(木)

上海空港での出国審査。別室に呼ばれるかと思いましたが、一般客と同じレーンで大丈夫でした。しかし、セキュリティチェックが長い列で時間がかかり、ギリギリで成田行きの飛行機に乗り込みました。これでやっと日本に帰ることができると心底安心しました。

それから、約 2 時間、日本到着しました。成田での入国審査。一般レーンではなく、窓口へ案内されました。

なにか特別な手続きが必要ですかと問い合わせると、

”再度、パスポートを申請する場合は、"帰国のための渡航書"を持って行ってください”とされました。

通常と同じスタンプを押され、帰国となりました。

<申請に必要なだったもの>

- ・写真 4 枚(縦 4.5cm×横 3.5cm) 写真屋は出入国管理処近くに多くあります。
- ・申請費用 305 元(日本側 145 元 中国側 160 元)
- ・運転免許証等の写真付き身分証明書
- ・パスポート番号

<すごく役に立ったもの>

- ・携帯電話(ガラケー)
- ・スマートフォン+香港 SIM(電池の消耗が早いので気をつけて)
- ・google 翻訳[Weblio 翻訳はダメ]
- ・付箋紙(筆談用)
- ・e チケット番号控え
- ・CTRIP(ホテル、高速鉄道の予約)

<その他>

- ・出入国管理処の取扱時間(平日 8:30~12:00, 14:30~17:30[冬季])
- ・在広州日本領事館の取扱時間(平日 8:45~12:00, 13:45~17:00)
- ・戸籍謄本は帰国後でも可?
- ・臨時宿泊登記書は求められなかった
- ・航空券は 1 週間以内であれば変更可(中国東方航空の場合)
- ・海外旅行保険は"帰国のための渡航書"による帰国の場合は、72 時間まで自動延長
- ・公衆電話はありません

<反省点>

パスポートは長財布のようなケースに旅程表や搭乗券、高速鉄道予約書を入れて持ち歩いていました。が、中国では、どこに行ってもパスポートの提示が求められます。このようなケースでは、どうも対応しにくいことに気づいていました。また、近年、オンライン化が進んだことで、パスポートさえあれば、航空機に乗れることが分かってきました。

二度とこのようなことを起こさないためにも、パスポートだけを入れる紐付きケースを購入したいと考えています。

以上です。

**永井大悟**

(2018 年 1 月 20 日作成)